

「ジャックと豆の木」コンテスト
家族で体感する童話の世界 ～ 協和株式会社 ～

水耕栽培ハイポニカの協和株式会社（大阪府高槻市 代表取締役 野澤 重晴）では、「ジャックと豆の木現象（下部写真参照）」をご家庭でも体感してもらうため、水耕栽培キット ホームハイポニカ（モデル HHP402）を使ったびっくりトマト生長コンテストを開催いたします。

コンテスト参加者の栽培写真を当社ホームページ上で随時掲載します。



トマトの「ジャックと豆の木」現象
一株から一万六千個の果実

ハイポニカとは、植物が本来持っている能力を最大限に引き出す栽培方法です。この技術を取り入れ手軽に栽培ができる水耕キットがホームハイポニカです。これは、小学生のお子様をはじめ、園芸初心者でも簡単に栽培が楽しめます。

また、出来た作物は安全で、安心してご家庭で食べていただけ、育てる楽しみ、食べる楽しみ、見る楽しみに加えて今回はコンテスト参加で賞品をもらう楽しみもあります。

コンテスト内容は当社ホームページ上の「新着情報欄」をご覧ください。

<http://www.kyowajpn.co.jp/hyponica/>

【参加条件】

- 日本在住であること
- 日当たりの良い屋外（庭）かベランダで栽培が可能なこと
- 栽培キットを17,000円（消費税・送料込）でご購入いただけること
- 事前に当社所定の用紙にて登録していただけること

【内容】

- 付属のトマトの種を使用して、2012年10月末まで栽培
- 栽培開始後月一回以上デジカメで作物を撮影し、当社へ写真データをお送り頂きます。
- その他詳細については、コンテスト応募者の方へ直接連絡致します

【賞品】

最優秀賞にハワイペア旅行券をはじめ、多数の賞品をご用意しております。
詳細は当社ホームページ 本コンテストサイトご参照ください。
<http://www.kyowajpn.co.jp/hyponica/>

【装置仕様】

- サイズ：幅・奥行・高さ 63 x 36 x 33 (cm)
 - 重量（乾燥時） 5.5Kg
 - 液肥槽容量 35 L
- トマトの種（コンテスト用）、液肥 1 L（一作分）など
コンテスト栽培に必要な消耗品は付属しています。



ホームハイポニカ 402 外観

ホームハイポニカの栽培事例（大玉トマト）



<ハイポニカ水耕栽培について>

協和(株)は 1962 年から水耕栽培の研究を開始、1966 年から国内で水耕栽培プラントの販売を行っている老舗のメーカーで、1985 年のつくば科学万博の政府館でトマトの放任栽培により一株から一万六千個の実をつけた【巨木トマト】を展示しました。この独自の栽培技術は国内外から多くの評価を受けています。

特に同社のシステムは全ての作物や生育時期において、肥料の成分や濃度を変えず、常に同一濃度、同一組成で栽培ができるため、自動化、省力化が容易であると同時に、土栽培では不可能とされる栽培技術の標準化が可能であることが大きな特徴です。

植物が生育する環境を安定に保つことで、生理状態を高レベルで安定し、土での栽培や他の水耕栽培と比べて生育速度が速く、品質が高く、収量も多い特長があります。

<会社概要>

- 【代表者】 野澤 重晴 (ノザワ シゲハル)
【設立】 1953 年 7 月
【資本金】 9,600 万円 (グループ合計 23 億 7 千万円)
【事業内容】 プラスチック成型金型設計・製造、
・成型部品製造・販売
・水気耕栽培ハイポニカの設計・製造・販売
(URL) <http://www.kyowajpn.co.jp/hyponica/>

<本件に関するお問い合わせ>

ハイポニカ 広報担当
天野 督章 (アマノ トクアキ) / 賀集 淳一郎 (カシュウ ジュンイチロウ)
E-mail : t-amano@kyowajpn.co.jp / j-kashu@kyowajpn.co.jp
TEL : 072-674-1161 FAX : 072-674-1191